

地元の味！ くらしを大切にする店



主婦の店

赤穂民報

発行所

赤穂民報社

赤穂市加里屋町前田58-18

TEL 43-1886

FAX 46-2626

編集人 広島秀紀

設計、住宅、お店、不動産

木の家おきに入りのくらし

アーバンハウス株式会社



千種川水系上流域に
あたる西有年と上郡町
梨ヶ原の山林を予定地
とする産業廃棄物最終
処分場建設計画で、事
業者の東洋開発工業所
（大阪府豊能郡、西脇
勝社長）が25日、県農
業局を開始へ向けた
事前協議書を兵庫県へ
提出。「形式は整って
いる」（県）として受
理された。同計画をめぐって
は、「産業廃棄物最終
処分場建設反対赤穂市
民の会」の陳情を受け、
平成27年に赤穂市議会が
「産業廃棄物最
終処分場建設に反対す
る都市宣言」を決議。
明石元秀市長は「市民
の理解が十分に得られ
ていない現状の中で事
前手続きが進められる
ことは誠に遺憾」との
話を出した。

事前協議書提出後に
報道の取材に応じた同
社によると、事業面積
は19・1ヘクタールで
大半は自社の所有地で
一部民間企業が所有す
る土地を含む。「2つ
の谷の間にある尾根を
堪能してほしい」と鑑
賞を呼び掛けている。

演目は羽衣伝説を題
材にした「羽衣」。天
女を金剛流シテ方の今
井清隆、漁師の白龍を
福王流ワキ方の江崎正
左衛門が演じる。赤穂
元太郎も前回
ゆかりの金春流太鼓
一般販売がこのほど始
まった。

7月14日「第2回市民能
入場券の販売始まる
金剛流「羽衣」上演

（柳谷明伸）

30年度市消防操法大会 第1分団が連覇 6月の西播大会出場へ

消防分団がポンプ車操作の技量を競つて平成30年度赤穂市消防操法大会が22日、加里屋の宏分団長が2大会連続2度目の優勝を飾った。ほぼ隔年で開催している大会で、市内15分のうち14分団が出場した。1チケット人で団員たちは指揮者の号令で機敏に動き、操作

の迅速性や正確性などを競つた。優勝と準優勝の分団は西播磨地区大会(6月24日、兵庫県広域防災センター)に赤穂市代表として出場する。

井俊明分団長、田雅也、葛島享昌、宍戸裕紀、牧佳彦、四井良、史也、徳尾潤、土遠剛

井高司、内藤博樹▽3位▽第6分団(栗井尚英、富田敏夫)写真は2度目の第

優勝を連覇で飾った第

1分団

中優真さん33は「チ

ーム丸で連覇でき

る。地域の皆さん

の期待に応えられるよ

う、西播磨大会も頑張り

ます」と喜びと抱負を

語った。

△優勝▽第1分

田中優真さん33は「チ

ーム丸で連覇でき

る。地域の皆さん

の期待に応えられるよ

う、西播磨大会も頑張り

ます」と喜びと抱負を

語った。

△優勝▽第1分